

# Cisco UCS ファームウェアのバージョン表記

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ネットワーク図](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[1. UCS ファームウェアのバージョン情報](#)

[2. UCS ファームウェア パッケージ](#)

[3. UCS ファームウェア バンドル概要](#)

[4.1 UCS 6100 Fabric Interconnect のファームウェア](#)

[4.2 UCS 2100 ファームウェア- IO モジュール](#)

[4.3 UCS B シリーズ ブレードのファームウェア](#)

[4.4 UCS アダプタ カードのファームウェア](#)

[4.5 UCS Manager のファームウェア](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、UCS ファームウェアに関するバージョン情報の解釈方法とコンポーネントの識別方法を説明しています。

Cisco UCS は次のような方法で配布されます。

- UCS イメージが単一のバンドルとして配布されるか、個別のコンポーネント イメージとして配布される。個別のイメージには、UCS Manager、UCS Fabric Interconnect、IO モジュール、BMC、BIOS、アダプタなどがあります。
- UCS ファームウェアが Cisco Software Delivery System でホスティングされる。
- UCS Manager によりバンドルがアンパック ( パック解除 ) され、スイッチに格納されたイメージ カタログがアップデートされる。
- UCS Manager により、スイッチに格納されたすべてのコンポーネント イメージのカタログが維持管理される。
- どのバンドルでも、出荷されるのは各コンポーネントの 1 つのバージョンだけです。同じバンドルに、UCS が使用される複数のハードウェア プラットフォーム用のコンポーネント イメージが含まれています。
- 各コンポーネント イメージにはバージョンが付けられ、ユーザが識別できるようになってい

ます。配布される各コンポーネント イメージには互換性があり、それぞれ別々にアップグレードできます。

UCS のファームウェアはバンドルあるいは個別イメージのいずれかの形式で配布されます。

- バンドルバンドルには、ファームウェアを必要とする各コンポーネント用のパッケージが取り込まれています。現行のトラッキング対象には下記の 3 種類のバンドルがあります。  
— 正常なバンドル.gbin — デバッグ情報のバンドル; 指示されるただエンジニアリングdplug  
— NX-OS にルートアクセスを許可する dplug ファイル; 指示されるただエンジニアリング
- 個別イメージ

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco UCS サーバ ブレードのソフトウェアとハードウェア
- UCS Manager
- このドキュメントで説明されているさまざまなコマンドの影響と ( 包含されている ) 意味
- UCS コンポーネントおよびトポロジー; 一般的なソリューションについては、ネットワーク図を参照してください。

この設定を行う前に、次の要件が満たされていることを確認します。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco UCS に基づくものです。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

### ネットワーク図

一般的な Cisco UCS のトポロジーは次のようなものです。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 設定

### 1. UCS ファームウェアのバージョン情報

このセクションでは、UCS ファームウェア バージョンの形式を説明しています。

### NX-OS

NX-OS バージョン番号は Cisco 標準形式に付着します。たとえば、4.0(0)N1.1。

## その他の UCS のコンポーネント

他の UCS コンポーネントは標準ソフトウェア形式 (X.Y.Z) に付着します。たとえば、1.0.0。

- X はメジャーバージョン/リリースを表しています。これが使用されるのは、メジャー フィーチャのリリースやアーキテクチャ上の変更の場合です。
- Y はマイナーバージョン/リリースです。
- Z は不具合修正バージョン/リリースです。

## 2. UCS ファームウェア パッケージ

イメージとは、あるエンドポイントに特定のファームウェアの単位を表しています。たとえば、IOM イメージ、BMC イメージなどがこれにあたり、1つのパッケージには複数のイメージがバンドルされています。パッケージ化されている理由は、配布とダウンロードを容易にするためだけです。イメージとは違って、パッケージにはバージョンは付けられていません。UCS Manager では、パッケージと個別イメージのどちらもダウンロードできます。パッケージをダウンロードする場合、パッケージがアンパック (パック解除) されて、そこから個別のイメージが抽出されます。パッケージとは、ダウンロード時に作成される読み取り専用オブジェクトです。パッケージによりディスクスペースが占有されるわけではありません。パッケージの実体は、パッケージダウンロードの一環としてアンパック (パック解除) されたイメージのリストです。また、パッケージは削除できません。パッケージで配布されたイメージがすべて削除される際に、自動的にパッケージが削除されます。個別のイメージがダウンロードされる際、パッケージ名はイメージ名と同じになります。

パッケージにあるイメージには、次のものがあります。

- Fabric-Interconnect のカーネル イメージとシステム イメージ
- UCS Manager イメージ
- IOM ファームウェア イメージ
- BMC ファームウェア イメージ
- ネットワーク側のアダプタ ファームウェア (Cisco UCS CNA M71KR、Cisco UCS VIC M81KR)
- ホスト側のアダプタ ファームウェア (Cisco UCS CNA M71KR アダプタだけに適用可能) Qlogic 製オプション ROMEmulex 製オプション ROMEmulex 製ファームウェア
- LSI のオプション ROM
- LSI のファームウェア
- BIOS

## 3. UCS ファームウェア バンドル概要

UCS ファームウェア バンドルを表示するには、次の手順を実行します。

1. UCS Manager にログインします。
2. ナビゲーション ペインで **Equipment** タブをクリックします。
3. 作業ペインで **Firmware Management** タブをクリックします。
4. Firmware Management タブにある **Package** をクリックします。
5. 特定のファームウェア バンドルをクリックします。次に、各バンドル内にあるファームウ

エア コンポーネントを説明します。ucs-2100.1.0.1e.bin — IO モジュール イメージucs-6100-k9-kickstart.4.0.1a.N2.1.1e.bin — UCS ファブリック相互接続はイメージを Kickstartucs-6100-k9-system.4.0.1a.N2.1.1e.bin — UCS ファブリック相互接続システムイメージucs-b200-m1-bios.S5500.86B.01.00.0036-191.061320091126.bin — UCS-B200-M1 ブレード BIOSucs-b200-m1-k9-bmc.1.0.1e.bin — ブレード BMC イメージucs-b200-m1-sasctrl.01.26.00.00\_06.24.02.00\_03.08.00.00.bin — LSI ロジック SAS コントローライメージucs-m71kr-e-cna.1.0.1e.bin — Cisco UCS チャンネル利用不可 M71KR - Emulex チャンネル利用不可 イメージucs-m71kr-e-hba.2.80A4.bin — Cisco UCS チャンネル利用不可 M71KR - Emulex HBA イメージucs-m71kr-e-optionrom.5.03A8.bin — Cisco UCS チャンネル利用不可 M71KR - Emulex オプション ROMイメージucs-m71kr-q-cna.1.0.1e.bin — Cisco UCS チャンネル利用不可 M71KR - Qlogic チャンネル利用不可 イメージucs-m71kr-q-optionrom.2.02.bin — Cisco UCS チャンネル利用不可 M71KR - Qlogic オプション ROMイメージucs-manager-k9.1.0.1e.bin — UCS GUI イメージ

## [4.1 UCS 6100 Fabric Interconnect のファームウェア](#)

これは UCS Fabric Interconnect ファームウェアのイメージです。

- イメージ — ucs-6100-k9-kickstart.4.0.1a.N2.1.1e.bin Kickstart
- システムイメージ — ucs-6100-k9-system.4.0.1a.N2.1.1e.bin

## [4.2 UCS 2100 ファームウェア- IO モジュール](#)

これは単一ファームウェアイメージ — ucs-2100.1.0.1e.bin です

## [4.3 UCS B シリーズ ブレードのファームウェア](#)

これは UCS B シリーズ ブレード ファームウェアのイメージです。

- BIOS — ucs-b200-m1-bios.S5500.86B.01.00.0036-191.061320091126.bin
- BMC — ucs-b200-m1-k9-bmc.1.0.1e.bin
- LSI SAS controller — ucs-b200-m1-sasctrl.01.26.03.00\_03.12.00.00.bin

## [4.4 UCS アダプタ カードのファームウェア](#)

- Cisco UCS 82598KR-CI 集中型 ネットワーク adapter —ファームウェア無し
- Cisco UCS チャンネル利用不可 M71KR — EmulexCisco UCS チャンネル利用不可 M71KR Emulex — ucs-m71kr-e-cna.1.0.1e.binCisco UCS チャンネル利用不可 M71KR Emulex FC — ucs-m71kr-e-hba.2.80A4.binCisco UCS チャンネル利用不可 M71KR Emulex オプション ROM — ucs-m71kr-e-optionrom.5.03A8.bin
- Cisco UCS チャンネル利用不可 M71KR — QlogicCisco UCS チャンネル利用不可 M71KR Qlogic — ucs-m71kr-q-cna.1.0.1e.binCisco UCS チャンネル利用不可 M71KR Qlogic オプション ROM — ucs-m71kr-q-optionrom.2.02.bin

## [4.5 UCS Manager のファームウェア](#)

これは UCS Manager ファームウェアのイメージです。

UCS Manager — ucs-manager-k9.4.0.1a.N2.1.1e.bin

このコードが搭載されていて、稼働するのは UCS 6100 です。

## 確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

## 関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)
- [UCS ファームウェア管理での一般的なヒント](#)
- [Unified Computing System のファームウェア管理ベスト プラクティス](#)